

# 事業報告書

事業名	ICT を活用した研修提供体制基盤充実事業
事業の実施状況	<p>1 コンテンツの企画・制作</p> <p>次の9のコンテンツを企画・制作した。</p> <p>(1) 生涯研修制度基礎課程・専門課程における講義 (8本制作)</p> <p>本会の生涯研修制度は実践に則して社会福祉士の専門性を向上する課程として基礎課程・専門課程を整備している。2020年度においては次のeラーニングコンテンツを制作した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ソーシャルワークにおけるケアマネジメントの方法</li> <li>②子ども虐待への視点</li> <li>③社会福祉士に必要な会計・財務マネジメント (前半編)</li> <li>④社会福祉士に必要な会計・財務マネジメント (後半編)</li> <li>⑤ナラティブ・アプローチ</li> <li>⑥社会福祉士に共通する専門性の理解</li> <li>⑦相談援助の視座と展開過程</li> <li>⑧社会福祉士の倫理綱領・行動規範の理解及び実践適用</li> </ul> <p>(2) 研修のeラーニング化 (1本制作)</p> <p>未成年後見人養成研修 (集合研修) の1講義「未成年後見と社会福祉士」をeラーニング講義とし事前視聴とすることで、集合研修においてより内容を深める講義・演習を可能とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑨未成年後見と社会福祉士</li> </ul> <p>2 広報・啓発事業</p> <p>(1) ホームページでの広報</p> <p>昨年に引き続き、一般公開用ホームページにて、eラーニング講義メニューや登録方法の掲載、ログインしなくてもお試し視聴ができるコンテンツの掲載、講座メニューのアップデート等、随時行った。</p> <p>(2) eラーニングシステム案内文を送付</p> <p>本会新入会員約2,100人にeラーニングシステムの案内を、また本会会員約2,500人に会員証更新の時期に合わせてeラーニングシステムの案内とID及びパスワードを、それぞれダイレクトメールにて送付した。</p> <p>3 eラーニング講義の配信</p> <p>(1) 配信期間</p> <p>2020年4月1日から2021年3月31日 (365日24時間配信)</p> <p>(2) 配信数</p> <p>2021年3月15日現在 48本配信中。</p> <p>(3) 視聴者数 (会員でない社会福祉士、一般を含む)</p> <p>2021年3月25日現在 ログイン者数は約4,800名</p> <p>4 システム改造</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴したい講義を選択しやすいようメニューツリー構造の見直し</li> <li>・講義の視聴順序を指定できる機能の追加</li> </ul>
<p>事業の成果</p>	<p>実践する社会福祉士は常に最新の知識と技術を学び研鑽を続ける必要があるが、現場は日々忙しく学ぶためのまとまった時間が取りにくい現実もある。そこで、本会は社会福祉振興・試験センターの助成を受けて2018年度までに、社会福祉士にとって効率的かつ学びやすい環境を提供するためにICTを活用して社会福祉士個々のニーズに合った研修をインターネットを介して、いわゆるeラーニング講義として提供できる体制を構築した。</p> <p>本事業は昨今のコロナ禍もあり益々重要性が高まっている。本年度は昨年度の事業に引き続き、eラーニング講義の充実をはかった。具体的には、事業の実施状況に記述したとおり、「生涯研修制度における講義」「研修のeラーニング化」で9本のコンテンツを作成した。また、eラーニング講義を単独の講義とみなすのではなく、複数の講義を順番に視聴することでより学びの効果を期待できるものもあることから、視聴順番を指定できる機能を追加した。このことは、多くの研修プログラムに複数のeラーニング講義を適切に導入することが可能となり、eラーニング講義を活用した研修のさらなる展開が見通せるようになった。</p>